

JOURNAL OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

6 土 木 学 会 誌

1976 VOL.61

土木技術者のイメージは、一般にもまた自分自身でさえ、ときには明確でないように思われる。一般へのよりよい理解を求めるためにも、また自ら職業人としての土木技術者の位置づけを認識するためにも、そして何よりも良い後継者を期待する面から、この際土木技術者像を浮き彫りにする必要に迫られているといえよう。

土木技術者は、いままでどのような姿勢で生きてきたのか。土木事業が転換期に立っている現在、これからの土木技術者のあるべき姿は何か、その資質はなんであるのか、大先輩、各職場で活躍している第一線の行政官、民間人、学者など各分野の土木技術者に、職業としての土木技術者像とその仕事と生活を描いていただくことによって、われわれは自らの職業を沈思してみたいと思う。編集にあたっては、世代の相違、日本と外国の土木技術者の違いなども紹介することによって、広い視野から現在および次代のわが国の土木技術者像を展望しようと試みた。

われわれはお互いに日々の仕事に没頭していて、土木技術者とは何かをじっくり省みる余裕がないが、これからの土木事業を人びとの幸福のために推進するためには、何よりも一般からの好意ある理解と、意欲とヒューマニティーに富む後継者に期待しなくてはならない。そのための一助として、本特集を企画し、しばし会員のプロ意識の涵養に供したいと考えた次第である。

昭和 51 年 6 月 10 日 印刷・同 15 日 発行

©土木学会誌 第 61 卷 6 月号 (Vol. 61—7) 定価 650 円・送料 50 円

発行者・〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 川越達雄

振替・東京 6-16828 番/電話 03-355-3441 番 (代表)

印刷・技報堂/口絵印刷・若林原色工芸社/製版・日進社/図版・巧芸社+博栄社/用紙・王子製紙